

白石踊後継者育成事業 白石踊会笠岡支部 今月の活動（令和7年9月～10月）

令和7年9月～10月の白石踊に関わる高校生の活動について報告します。

1. 福武教育文化振興財団の成果報告会

2025年9月27日に福武教育文化振興財団 成果報告会に参加し、私たちの白石踊の伝統を受け継ぐ活動について報告しました。福武教育文化振興財団様には昨年度まで助成いただき、大変お世話になりました。

会場では、多くの助成を受けた団体の方々が地域や社会のために取り組んでいる活動を報告し合い、交流しました。文化活動や芸術活動に本気で取り組み挑戦し続ける大人と出会えたことは、高校生の私にとって大きな刺激になりました。また、私たち高校生が伝統文化の継承をテーマに発表したことに驚きや感動を示してくださる方もおり、温かい言葉をいただけたことが心に残っています。

さらに「白石踊を知っている」「白石島に行ってみたい」と話してくださる方もいて、地道な活動がみなさんの耳に届いていることを実感でき、とても嬉しかったです。これからも白石島や白石踊の魅力を広く発信していきたいです。

（文章：岡野日向子）



2. 堺ライオンズクラブ賞の受賞報告

2025年10月4日の定期練習会で、「堺ライオンズクラブ賞」の受賞報告が高校生からありました。これは8月下旬に「高校生ボランティア・アワード2025」に参加した際に受賞したものです。

「今回このような素晴らしい賞をいただけたのも、島の伝統と皆さんの応援があったからだと思います。僕自身も活動を通してよい経験ができました。ありがとうございました。」と、中山魁士君から白石踊会員への謝意も述べられました。

トロフィーもお披露目がありました。



3.白石島訪問「白石踊講習会と空き家片付け」

2025 年 9 月 16 日に英数学館高校の 1 年生と 2 年生の約 30 人が白石島を訪れ、白石公民館で白石踊を習いました。午後は空き家の片付けもボランティア参加しました。当日の活動報告が寄せられましたので、ご紹介します。



澄んだ海の色、磯の香り、白石踊会の皆さん。白石島に一步足を踏み入れた瞬間、去年の思い出が一気によみがえりました。

私は高校一年の夏、日本財団「うみぼす甲子園」に出場し、海の課題をテーマに白石島と白石踊を紹介するポスターを作成し発表しました。実際に白石踊を披露するため何度も島を訪れ、白石踊会の方々や地元の人々と交流を深めた時間は、今も大切な宝物です。

半年ぶりに再び島を訪れると、あらためて「やっぱり私は白石島と白石踊が大好きだ」と強く感じました。透き通る海や温かな笑顔に迎えられ、胸がいっぱいになりました。そして、これからも白石踊をもっと多くの人に知ってもらえるよう、自分にできる活動が続けたい。そしてまた必ずこの島を訪れ、住民の皆さんと踊りを分かち合いたい。と思いました。私にとって白石島は、何でも帰りたくなる特別な場所です！
(文章：吉原理絵)

今回、私は白石踊を教えてもらいました。白石踊は伝統的な盆踊りで、およそ 800 年続いています。国の重要無形民俗文化財に指定され、2022 年には、ユネスコ無形文化遺産登録されました。踊りでは、真ん中に太鼓をおいて、太鼓のリズムと口説き（音頭）でその周りに男踊・月見踊など 13 種類もある踊りを一緒に踊ります。その中でも今回は一番簡単な踊りを体験しました。白石踊は手の角度や足の方向などとても細かくて難しかったけど、白石踊会の先生に教えてもらい、最初から最後まできれいに踊ることができてとてもうれしかったです。

もっと白石踊を観光客に知ってもらうことが一番大事だと思います。だから、白石島を直島のようにアートの島にして呼び込むことが、一つの方法になるかもと想像しました。

(文章：藤原諒星)



初めての探究活動で白石島という知らない場所に行くにあたって、新たな挑戦への不安と楽しみという感情がありました。

白石島の伝統でもある白石踊では、独特のリズムと振り付け、足の動きに最初は戸惑いましたが、仲間と協力したり、先生のサポートもあったりして、最後のほうにはリズムや振り付けを覚えることができました。

空き家掃除では、昭和感あふれる家でとても広く、人数が少なれば掃除が時間内に終わらなかったでしょうが、みんなで協力し、時間内に家のほとんどの場所を掃除することができました。他にも、自由時間に浜辺に行き、初めて瀬戸内海に入りました。太平洋の海とは砂の感触や海の透明度が違い、とても美しい景色が見られました。

過疎化が深刻化している白石島の伝統や景観を守るために、今回学んだことや体験したことを友達や家族など、今回体験しなかった人に紹介できるようにしたいです。白石島にまた行きたいと思いました。今回知れなかった白石島のことについて機会があれば個人的に行ってみたいと思いました。

(文章：金澤桂汰)

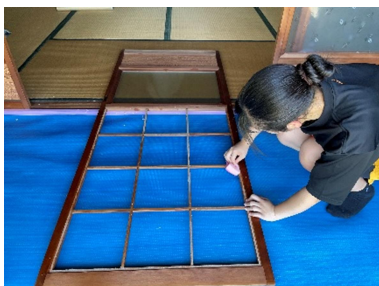
私は白石島に行って、白石踊りや古民家の片付けなど貴重な体験をすることができました。

昔から島に伝わる白石踊を実際に習いました。リズムや踊りが思っていたより難しかったけれど、おばあちゃんたちがすごく丁寧に教えてくださったので、楽しくできるようになりました。楽しくできてすごく嬉しかったです。伝統を受け継ぐことの大切さを実感することができました。

古民家の片付けでは、障子の紙をきれいにはがす作業をしました。普段しない作業で最初はとても難しかったけれど、集中して最後まで取り組みました。疲れたけど、自分がきれいにした障子を島の人などほめてくださり嬉しかったです。

今回の体験を通して、島のことや踊りを少し知ることができてよかったです。もっと知りたいと思いました。文化を伝えている人や大切にしている人がいることを感じて、自分も文化などを大切にできる人になりたいと思いました。

(文章：小田百花)





私は白石島で白石踊や古民家の片付けなどの体験をしました。

白石踊では、地元の方に教えていただきながら、輪になってみんなで踊りました。最初は手と足が上手にかみ合いませんでしたが、だんだんと音楽に合わせて体が動いて、島の人たちと一体になったようで楽しかったです。

また、古民家の片付けにも参加しました。昔ながらの家具や道具など障子にふれることで、今の生活との違いを知ることができました。特に木のぬくもりや工夫されたつくり、昔の人々の知恵を感じました。普段の生活ではなかなか体験できないことなので、とても新鮮でした。

このように、白石島では歴史や文化を実際に体験することができて観光だけではなく、地域の方と交流することで、島の魅力をより深く知ることができたと思います。

今回の経験を通して、伝統や文化を大切に受け継いでいくことの大切さを改めて感じました。

(文章：穴井実生)

以上